部活動地域展開の「これから」を伝える通信　2026年11月

UNTITLED No.2



発行：赤穂市教育委員会 部活動地域展開運営委員会事務局

夏から秋に季節が変わり、部活動の地域展開が着実に進んでいます。今回は、中体連総合体育大会後の現在の部活動地域展開の状況をお伝えします。

新人体育大会開催

７月に開催された、中学校体育連盟による、総合体育大会の終了をもって、赤穂市内の各中学校の運動部の活動は終了し、認定地域クラブの活動へと引き継がれました。

９月には、認定地域クラブ活動が主体となる初めての大会、赤穂市新人体育大会が開催され、ソフトテニス、卓球、バレーボール、軟式野球、剣道の５種目が行われました。また、その上の大会となる西播新人大会には、それらの種目に加えてバスケットボール、サッカー、柔道などが開催されています。

市内大会の会場をいくつか訪れましたが、どの会場でも以前と変わらない温かい声援に包まれてました。参加チーム数、参加生徒が少なくなり、大会の規模自体は以前に比べて小さくなっています。しかし、参加する選手の皆さんの真剣な姿は変わりません。



選手を励ます指導者の方や、拍手や声援でサポートする保護者の方の姿もありました。

また大会の運営については、中学校の先生方にご協力いただいています。加えて、競技を引退した３年生が応援に駆けつけたり、大会の運営の手伝いをしている会場もありました。規模は小さくなりましたが、参加されている方々の温かさが心に残りました。この温かい環境で多くの生徒の皆さんが活動してくれたらと思いました。

赤穂市の認定地域クラブの運動系クラブのなかで、現在中体連登録をしている団体数は下のとおりです。参考にしてください。

＜中学校体育連盟登録団体数＞

陸上競技	1	軟式野球	2
水　泳	1	柔　道	2
卓　球	2	剣　道	2
バレーボール（女子）	2	テニス〔硬式〕	1
バスケットボール（男子）	1	ソフトテニス（男子）	1
バスケットボール（女子）	1	ソフトテニス（女子）	1

（認定地域クラブ活動 一覧表）

指導者も元気に！

赤穂 STGC（ソフトテニス）の代表、鹿島 芳明（かしま よしあき）さんは、長年、中学生のソフトテニス指導に携わってくださっていますが、現在も認定地域クラブの指導者としてご活躍いただいています。赤穂市新人体育大会の会場を訪れた際に、いろいろとお話を聴かせてくださいました。



「もうしんどいわぁ～」と言いながらも、どこか嬉しそうに、中学生のプレーを見ている姿は、さながら孫を見つめる「おじいちゃん」。（失礼だったらすみません・・・。）

「あの子は始めた頃はこんなだったけど、今ではこんなに上達したんや。」「あの子は絶対これからまだまだ上達する。」といったお話から、普段の練習での生徒の皆さんとどんな会話をしているか、といったことを、「面白いですよ～」と楽しそうに話してくださいました。

こんな素敵な関係ができるのも認定地域クラブの良さだなと感じます。そして、やはり中学生が頑張る姿、成長する姿には力があります。指導者の方もたくさん元気をもらっています。中学生の皆さん、周りの人たちも元気にする素晴らしい力をさまざまな場で発揮してくださいね。

中学校文化部の活動終了、地域展開へ

各中学校では運動部に続き、文化部も活動を終了し、地域展開へと展開していきます。吹奏楽部がある学校では、最後となる定期演奏会が 10 月に開催されました。例年にも増して多くの保護者の方や、学校関係者、地域の方、そして中学生も参加して、惜しまれながらも大いに盛り上がった演奏会になりました。

また、その他の文化部の活動も、各中学校の文化祭をもって活動を終了します。「終わり」は「始まり」でもあります。認定地域クラブの活動が、どのように展開されるか、またお伝えしていきます。

文化に関する認定地域クラブは、吹奏楽、コーラスから、書道や詩吟、扇舞まで、今までの部活動にはなかったクラブがあります。中学生の皆さんにとっては、まだ未知の世界が広がっています。ぜひ一度覗いてみてはどうでしょうか。

認定地域クラブ、記念すべき47団体目登録

赤穂市の認定地域クラブの登録団体数が、赤穂市民にとっては記念の数字、４７団体になりました！４７団体目はクラシックバレエの団体です。

認定地域クラブ活動には、さまざまな団体がそろっています。左の QR コードから、一度チェックしてみてください。赤穂市の認定地域クラブの活動が、中学生のみなさんの生活を豊かに、充実したものにできれば嬉しいです。